

「のに」について考える

みなさんは、誰かのために頑張ったのに、思ったような反応が返ってこなくてがっかりしたことはありませんか？たとえば、友達を助けたのに「ありがとう」と言われなかったり、クラスのために動いたのに誰にも気づかれなかったり。そんなとき、心の中に「こんなにしてあげたのに…」という思いが浮かぶことがあるかもしれません。相田みつをさんは、こう言っています。

「あんなにしてやったのに、『のに』がつくとぐちが出る」

この「のに」は、見返りを求める気持ちから生まれます。人のために何かをすることは素晴らしいことですが、そこに「感謝されたい」「認められたい」という期待があると、思い通りにならなかったときに不満が生まれてしまいます。

でも、誰かのために行動できたという事実は、それだけで価値があります。感謝されなくても、誰かの役に立てた自分を誇っていいのです。見返りを求めずに動ける人は、強く優しい人です。

もちろん、感謝されたいと思うのは自然なこと。その気持ちにとらわれすぎず、自分の行動に自信を持ってください。あなたの優しさは、きっと誰かの心に届いています。

だからこそ、「のに」を手放して、前向きに歩んでいきましょう。

(教頭 相畑利行)

地域の自然とつながる活動（普通科）

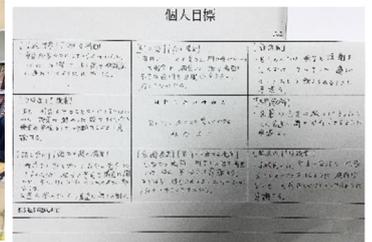
普通科の生徒たちは、燕島海水浴場の海岸で流木を拾い集める活動を行いました。拾ってきた流木は、今後授業で創作活動に活用し、個性豊かな作品作りに取り組む予定です。地域の自然に触れ、その恵みを学びながら、地域とつながる体験を重ねていきます。

今後も地域に密着した活動の幅を広げていきたいと考えています。(伊藤)



自己目標（5月9日）

1年1組では、目指す社会人像を元に自己目標を立てる学習を行いました。大谷翔平選手が学生時代に実際に使っていた「マンダラチャート」を使い、場面や行動、時間帯を入れた具体的な目標を立てることができました。目指す社会人像に近づけるよう、自分が立てた目標を達成してほしいと思います。(山内)



野菜を育てよう（5月15日）

2年7組では、8組と合同で野菜栽培の学習をしています。まずはみんなで植える野菜を考えました。今年度は、じゃがいも、人参、レタス、小松菜に決まりました。畑に行ってお畝を作り、種と苗を植えました。「野菜の種類によって、種の色や大きさが違うね」や「おいしい野菜ができたらいいね」などと話しながら、植えることができました。

今から秋の収穫が楽しみです。(山下)



今年の学級目標

皆様のお子さんの学級目標は何でしょうか？3年3組の学級目標はみんなが覚えられるものを目指して生徒が考えたところ、「たこやき」に決まりました。一見腑に落ちないところはありますが、生徒の説明は「みんなの個性を生かし、みんな優しくあたたかい学級をめざす。」とのことです。一見簡単で覚えやすい言葉の中にそのような意味を見いだすことができる生徒達の感性は面白いと再認した一場面でした。最後の1年間「たこやき」目指して頑張りたいと思います。(田村)

